

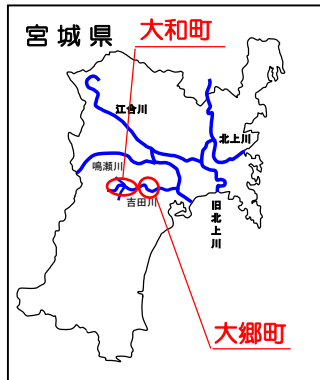
～ 梅雨本番に備えて水防団と合同で川を巡視しました ～

H29.6.15、H29.6.19 平成29年度 合同巡視（大郷町・大和町）を実施



- 平成29年6月15日、大郷町、6月19日、大和町において、水防団、大郷町、大和町、宮後県と合同で重要水防箇所の合同巡視を実施しました。（参加者：大郷町29名、大和町30名）
- 「鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会」及び「カスリン・イオン台風から70年」の取組の一環として、本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる箇所「重要水防箇所（※）」や工事箇所等を河川管理者と市・町・水防団が合同で巡視し、迅速な水防活動を行うために必要な情報を共有しました。
 ※「重要水防箇所」とは・・・「大きさ（高さ、幅）不足の堤防」「過去に法面が崩れた堤防」「漏水実績のある堤防」「過去3年以内に完成した堤防」など、洪水時に危険になることが予想され、重点的な巡視や点検が必要な箇所です。
- 参加者は、危険箇所の確認や水防資材の確認を行い、今後の水防活動に必要な情報の確認を行いました。

【位置図】



▲大郷町巡視前の大郷町長の挨拶



▲吉田川右岸24.0k (土橋)重要水防箇所の巡視



▲大郷町 意見交換会の様子



▲防災教育資料として作成した「マンガ 水防団の神様」
 ※ 当日、参加者へ配布



▲大和町巡視前の大和町長の挨拶



▲吉田川右岸28.1k(鶴巣)危険箇所の巡視



▲大和町 意見交換会の様子